

付録10 輸出入許可通知情報等の二重出力機能について

1. 二重出力機能の概要

ゲートウェイ接続 (SMTP 双方向)、ゲートウェイ接続 (SMTP/POP3)、netAPI 接続を利用する場合は、「付表 10-2 二重出力可能な輸出入許可通知情報等一覧」の出力情報について、輸出入申告等を行った入出力装置 (パソコンまたは自社システム) への出力に加え、別途、ゲートウェイ接続 (SMTP 双方向)、ゲートウェイ接続 (SMTP/POP3)、netAPI 接続を行う自社システムへ同一の輸出入許可通知情報等を二重出力することができる。

2. 二重出力の情報区分

輸出入許可通知情報等の二重出力にあたっては、「付表 10-1 二重出力可能な輸出入許可通知情報等一覧」における「輸出・航空」、「輸入・航空」、「輸出・海上」及び「輸入・海上」に区分する出力情報について、当該区分ごとに二重出力するか否かを選択し、出力先 (論理端末名、メールアドレスまたはメールボックス) を設定することができる。

3. 二重出力パターン

輸出入許可通知情報等の二重出力は、上記 2 の情報区分ごとに以下の入力形態に応じて、出力要否を選択可能である。「輸出入許可通知情報等二重出力用宛先管理登録 (UON)」業務にて選択を行う。

- ・NACCS パッケージソフトまたはゲートウェイ接続 (SMTP/POP3)
- ・ゲートウェイ接続 (SMTP 双方向、netAPI)

4. 二重出力の設定と出力例

- (1) NACCSパッケージソフトとゲートウェイ接続 (SMTP/POP3) を併用している場合 (パッケージソフト、自社システム両方からの入力で二重出力)

(UON業務の設定)

入力形態 : NACCS パッケージソフトまたはゲートウェイ接続 (SMTP/POP3)
出力先 : ゲートウェイ接続 (SMTP/POP3)
輸入・航空 : メールボックス ID (1ANAC001) を設定
輸出・航空 : 設定なし

(入力方法および出力結果)

- ①NACCS パッケージソフトから航空の輸入申告を行った場合、入力したパソコン (NACCS パッケージソフト) と自社システム (メールボックス ID (1ANAC001)) に輸入許可通知情報を二重出力する。(付図 10-1 パターン 1)
- ②自社システムから航空の輸入申告を行った場合、入力元受信用メールボックス ID と自社システム (メールボックス ID (1ANAC001)) に輸入許可通知情報を二重出力する。(付図 10-1 パターン 2)
- ③航空の輸出申告は、設定なしのため NACCS パッケージソフトから行う場合も、自社システムから行う場合も二重出力の対象とならない。

(注) ゲートウェイ接続 (SMTP/POP3) から輸入申告を行った場合のみ二重出力し、NACCS パッケージソフトから輸入申告を行った場合は二重出力しない設定は不可 (NACCS パッケージソフトから輸入申告した場合も二重出力となる)。

- (2) NACCSパッケージソフトとゲートウェイ接続（SMTP双方向）（またはnetAPI接続）を併用している場合①（NACCSパッケージソフトから入力した場合のみ二重出力）

（UON業務の設定）

入力形態 : NACCS パッケージソフト
出力先 : ゲートウェイ接続（SMTP 双方向、netAPI）
輸入・航空 : 論理端末名（YABC1Y）を設定
輸出・航空 : 設定なし

（入力方法および出力結果）

- ①NACCS パッケージソフトから航空の輸入申告を行った場合、入力したパソコン（NACCS パッケージソフト）と自社システム（論理端末（YABC1Y））に輸入許可通知情報を二重出力する。（付図 10-2）
- ②自社システムから航空の輸入申告を行った場合、二重出力の対象とならず、入力元の自社システム（論理端末）にのみ輸入許可通知情報を出力する。
- ③航空の輸出申告の場合、設定なしのため二重出力の対象とならない。

- (3) NACCSパッケージソフトとゲートウェイ接続（SMTP双方向）（またはnetAPI接続）を併用している場合②（自社システムから入力した場合のみ二重出力）

（UON業務の設定）

入力形態 : ゲートウェイ接続（SMTP 双方向、netAPI）
出力先 : ゲートウェイ接続（SMTP 双方向、netAPI）
輸入・航空 : 論理端末名（YABC1Y）を設定
輸出・航空 : 設定なし

（入力方法および出力結果）

- ①自社システムから航空の輸入申告を行った場合、入力元の自社システム（論理端末）と論理端末（YABC1Y）に輸入許可通知情報を二重出力する。（付図 10-3）
- ②NACCS パッケージソフトから航空の輸入申告を行った場合、二重出力の対象とならず、入力元のパッケージにのみ輸入許可通知情報を出力する。
- ③航空の輸出申告の場合、設定なしのため二重出力の対象とならない。

- (4) NACCSパッケージソフトとゲートウェイ接続（SMTP双方向）（またはnetAPI接続）を併用している場合③（パッケージソフト、自社システム両方からの入力での二重出力）

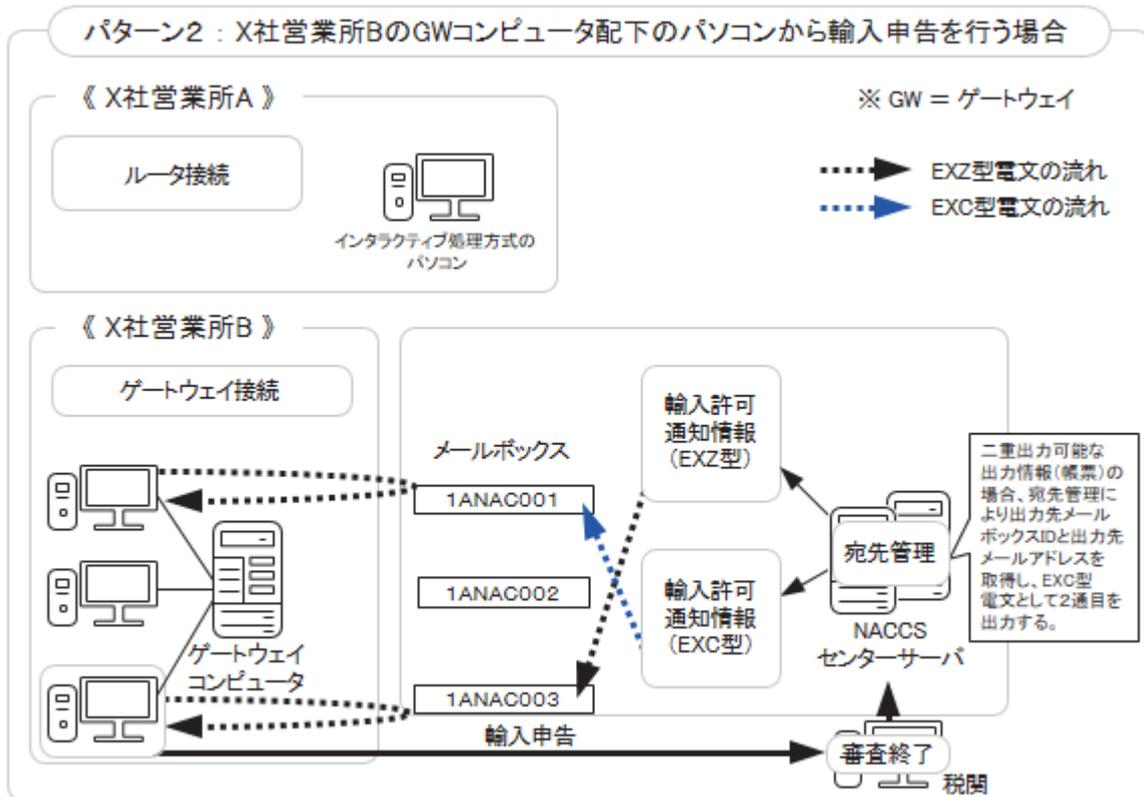
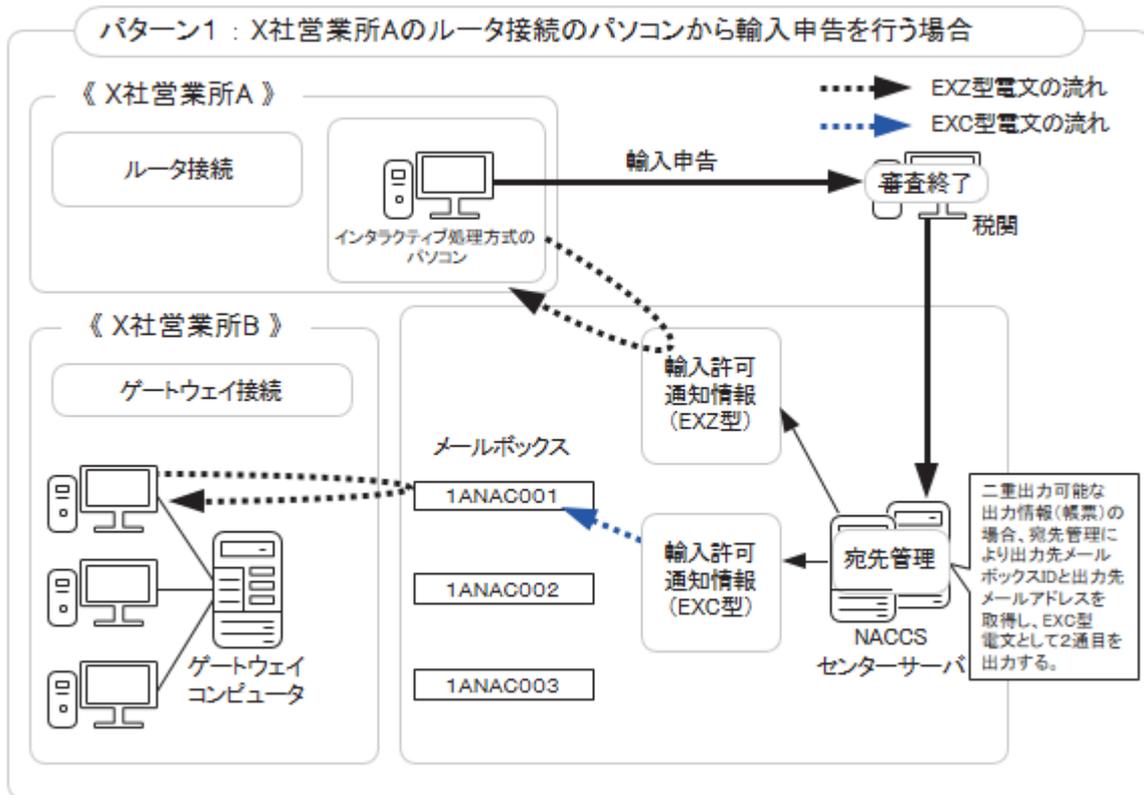
（UON業務の設定）

入力形態 : NACCS パッケージソフト
 ゲートウェイ接続（SMTP 双方向、netAPI）
 ※両方選択
出力先 : ゲートウェイ接続（SMTP 双方向、netAPI）
輸入・航空 : 論理端末名（YABC1Y）を設定
輸出・航空 : 設定なし

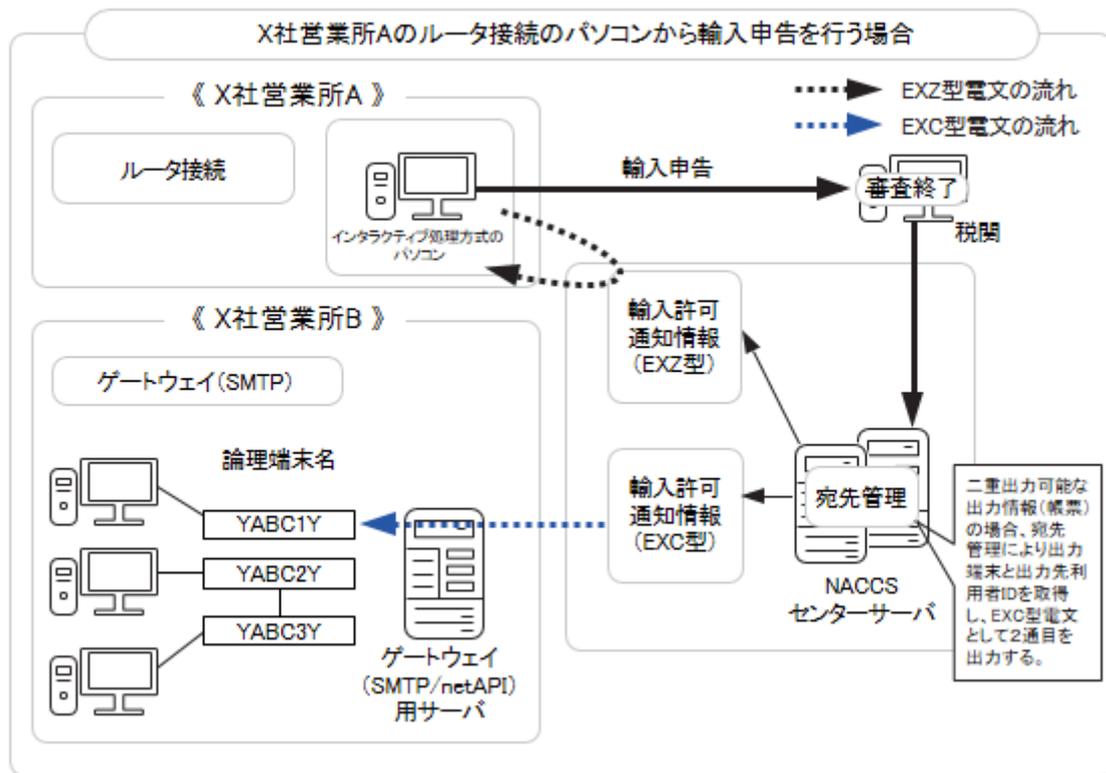
(入力方法および出力結果)

- ①NACCS パッケージソフトから航空の輸入申告を行った場合、入力したパソコン（NACCS パッケージソフト）と自社システム（論理端末（YABC1Y））に輸入許可通知情報を二重出力する。（付図 10-4 パターン 1）
- ②自社システムから航空の輸入申告を行った場合、入力元の自社システム（論理端末）と論理端末（YABC1Y）に輸入許可通知情報を二重出力する。（付図 10-4 パターン 2）
- ③航空の輸出申告の場合、設定なしのため二重出力の対象とならない。

輸入許可通知情報の出力パターンとして、付図 10-1（ゲートウェイ接続の場合）、付図 10-2、付図 10-3、付図 10-4 としてゲートウェイ接続（SMTP 双方向、netAPI）の場合を示す。

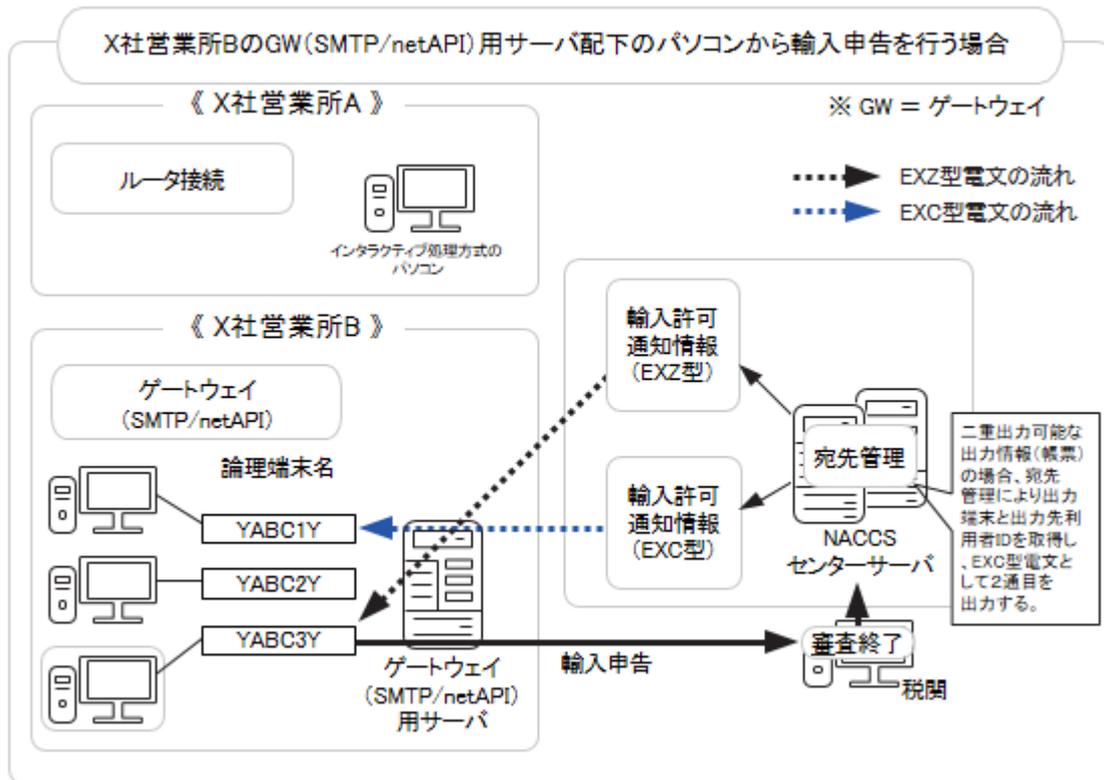


付図 10-1 輸入許可通知情報の出力の具体例（ゲートウェイ接続の場合）



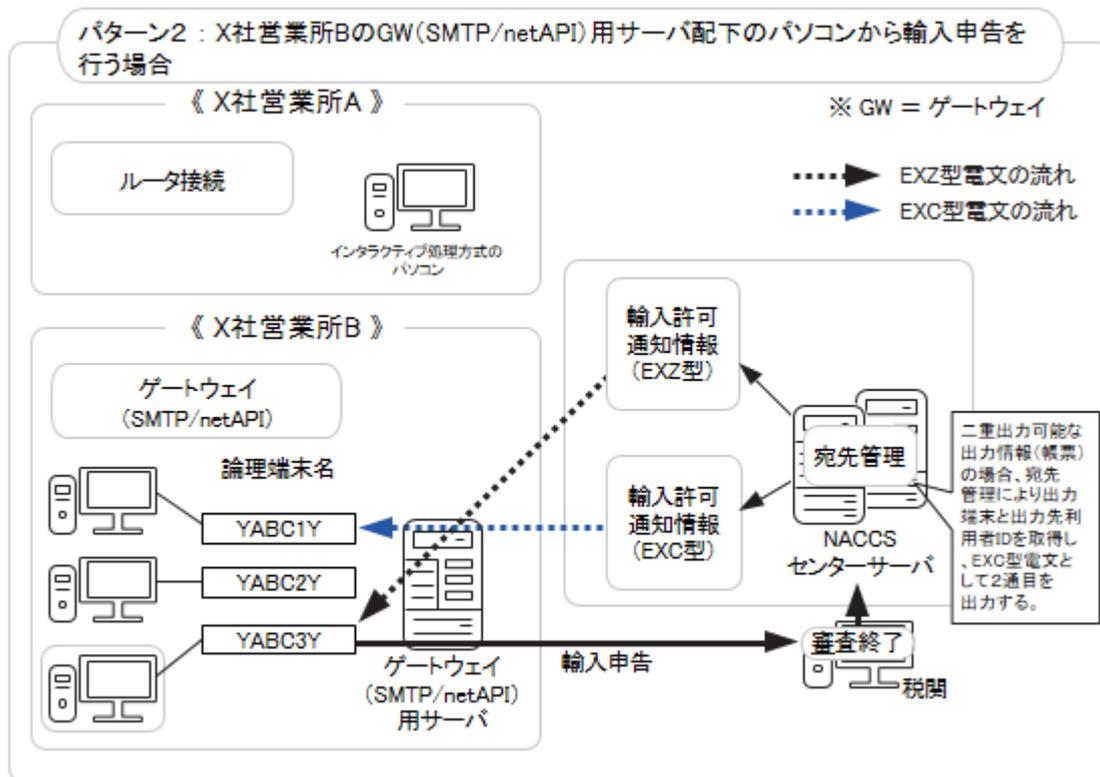
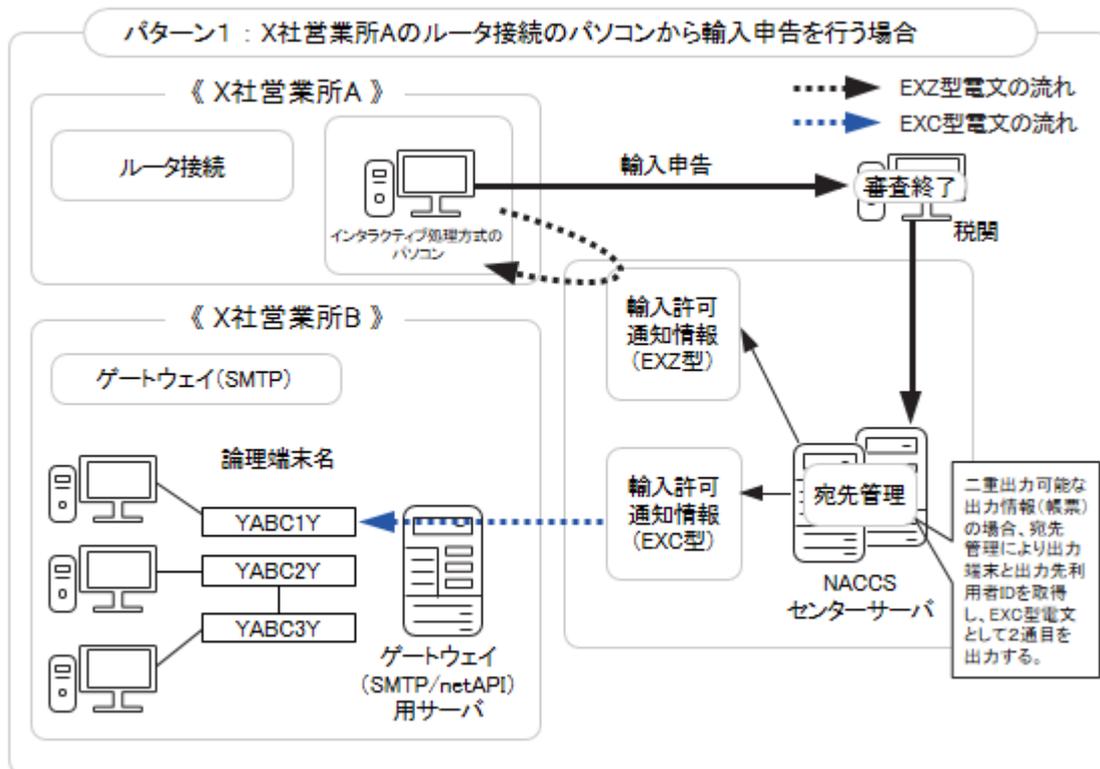
(注) netAPI接続の場合、SMTPをnetAPI、端末名YABC1YをV1000V、YABC2YをV1001V、YABC3YをV1002Vとして読む。

付図 10-2 輸入許可通知情報の出力の具体例
(ゲートウェイ接続 (SMTP 双方向、netAPI) の場合)



(注) netAPI接続の場合、SMTPをnetAPI、端末名YABC1YをV1000V、YABC2YをV1001V、YABC3YをV1002Vとして読む。

付図 10-3 輸入許可通知情報の出力の具体例
 (ゲートウェイ接続 (SMTP 双方向、netAPI) の場合)



(注) netAPI接続の場合、SMTPをnetAPI、端末名YABC1YをV1000V、YABC2YをV1001V、YABC3YをV1002Vとして読む。

付図 10-4 輸入許可通知情報の出力の具体例
(ゲートウェイ接続 (SMTP 双方向、netAPI) の場合)